

三陸・海の博覧会 基本計画が決まる

平成4年に開催する「三陸・海の博覧会」の基本計画が決まった。

総合テーマは「光る海、輝く未来」。釜石・宮古・山田の3つの会場をつないで、海の祭典が行われる。

会期は4年7月4日から9月15日までの74日間。主会場の釜石市は平田湾埋め立て地を会場地とし「海と未来のワンダーランド」がテーマ。「マリーナリゾートランド」がテーマの宮古市は、出崎の公共ふ頭用地が会場予定地。「遊コミュニケーションランド」の山田町は船越家族旅行村一帯が会場予定地。前売券の発売は3年6月からの予定だ。



基本計画を策定した第3回準備委員会（5月1日）



第一期部分が完成した一関浄化センター

磐井川流域下水道 一期部分供用開始

一関市中里字南谷起地内に、昭和62年度着工した一関浄化センターの第一期部分が完成し、5月8日通水式が行われた。

磐井川流域下水道の対象地域は一関市および平泉町。処理人口の全体計画は両市町合わせて5万7,000人。

このうち現在事業認可を受けているのは9,100人である。同センターの完成により、今年から下水道の利用が可能となるのは一関市の一部約800世帯。平泉町までの幹線の整備が完了するのは平成7年度の予定である。供用開始された県内の流域下水道はこれで3番目となった。

'93世界アルペン 組織委員会が発足

5月10日、全日本スキー連盟（SAJ）の「'93アルペンスキー世界選手権盛岡・雫石大会組織委員会」が発足した。

設立総会は東京で開かれ、名誉会長に中村知事、会長に堤義明SAJ会長を選出した。

世界アルペンは国際スキー連盟が主催し、2年に一度開くもので、冬季の国際スポーツとしては、オリンピックに次ぐ大きな大会。盛岡・雫石大会はアジア初の開催である。

同組織委員会発足のこの日で「イーハトーブ世界アルペン」開幕まであと千日。



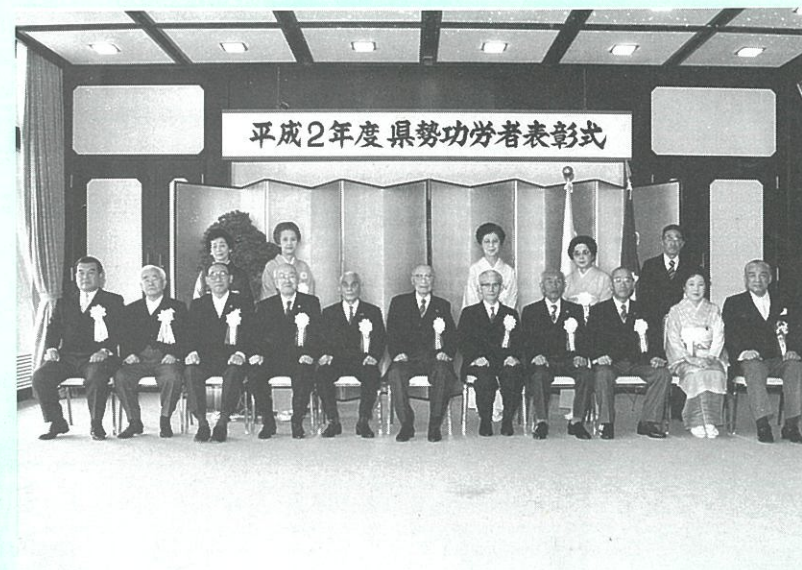
東京都内のホテルで5月10日に行われた設立総会

笑顔晴れやか8人 県勢功労者表彰式

平成2年度県勢功労者の表彰式が5月25日、知事公館で行われた。

今回表彰されたのは、学校法人久保学園理事長の久保源太郎さん（88）、岩手大学名誉教授の関文香さん（82）、県精神薄弱者育成会会長の梅津松夫さん（79）、農業技術指導者の藤原長作さん（77）、県信用金庫協会会長の伊藤仁助さん（76）、県農業共済組合連合会会長の館沢幸雄さん（71）、ブラジル県人会会長の村松吉次郎さん（70）、県農協婦人組織協議会会長の小原テルさん（62）の8人。

知事から式辞が述べられ、功労者一人ひとりに表彰状などが手渡された。



今回表彰された8人の方々

数字で見る岩手事情

226万8,431人

三陸鉄道の元年度の乗車人員。元年度は開業以来初めて乗車人員が前年度を上回り、利用客の減少傾向に歯止めがかかった。また、当期利益は824万円で、開業以来6年連続の黒字決算となった。三陸鉄道では、県で導入したイベント列車の活用や利用しやすいダイヤの設定などを行い今年度も昨年度以上の誘客に努めていく方針である。全国初の第三セクター鉄道として昭和59年に開業した三陸鉄道は7年目を迎え快走を続けている。

3,533万人

平成元年中に本県を訪れた観光客の人数。前年に比べ、12.8%増となった。これまで最も多かった昭和61年の3,234万人を大きく上回り、過去最高の記録となった。地域別入り込み数を見ると、陸中海岸が939万人で19.6%の増。八幡平・小岩井農場など岩手山ろくは1,081万人で10.6%の増。平泉や花巻温泉などの奥羽山系は985万人で10.9%の増。竜泉洞や遠野など北上山系は526万人で9.7%の増と、いずれも順調な伸びをみせている。

44人

交通事故発生から24時間経過後に死亡した人の数は警察の統計外死亡者として扱われる。昨年1年間に県内で発生した交通事故での統計外死亡者は44人。過去10年間で最悪の記録となった。また、事故発生から24時間以内に死亡した交通統計上の死者は137人。両者合わせた事故死者は181人となり、こちらも過去10年間で最悪となった。181人のうち、65歳以上の高齢者が50人で全体の27%を占め、その76%の人が歩行中に事故にあっている。

3番目

来年4月から放送を開始する岩手めんこいテレビは県内3番目の民放テレビ局である。キー局はフジテレビ。4月26日盛岡市本宮で盛岡業務センターの起工式が行われた。同センターにはニューススタジオ、報道部、営業部門がおかれ、鉄筋コンクリート2階建。屋上にはガラス張りのサテライトスタジオがおかれ、今年11月末、完成の予定である。水沢市の本社・演奏所は5月中に着工され、来年1月から試験放送を開始する。